

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problems Mailbox.**

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-232854

(43)Date of publication of application : 02.09.1998

(51)Int.Cl.

G06F 15/02

(21)Application number : 09-034610

(71)Applicant : CANON INC

(22)Date of filing : 19.02.1997

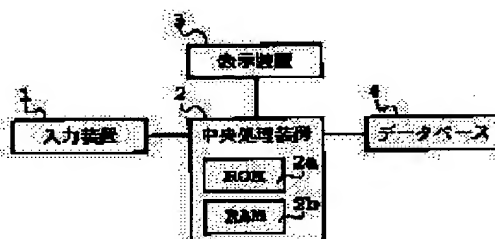
(72)Inventor : KITADA ATSUSHI

## (54) DEVICE AND METHOD FOR AUTOMATICALLY PREPARING CALENDAR AND MEDIUM RECORDING PROGRAM

### (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To add a featured history theme to a calendar.

SOLUTION: In the case that an addition method is a month unit, based on a history item display position and a display size in a picture area, whether or not all the history items of a preparation object month can be housed in a prescribed history item display area inside the picture area is judged. In the case that they can be housed, all the history items are inserted into the history item display area and outputted to a display device 3. On the other hand, in the case that all the history items can not be housed, a user is urged to erase the history items until being turned to a number housable inside the history item display area, and when the history items are established, the history items are inserted into the history item display area and outputted to the display device 3.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-232854

(43) 公開日 平成10年(1998) 9月2日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

G 0 6 F 15/02

識別記号

3 3 0

F I

G 0 6 F 15/02

3 3 0 Q

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号

特願平9-34610

(22) 出願日

平成9年(1997) 2月19日

(71) 出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72) 発明者 北田 敦

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ  
ノン株式会社内

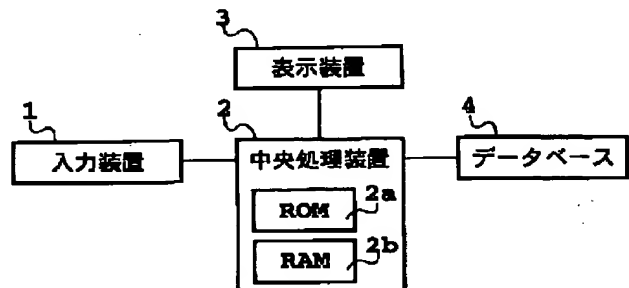
(74) 代理人 弁理士 谷 義一 (外1名)

(54) 【発明の名称】 カレンダー自動作成装置及び方法並びにプログラムを記録した媒体

(57) 【要約】

【課題】 カレンダーに特徴付けされた歴史テーマを付加する。

【解決手段】 付加方法が月単位の場合は、ピクチャ領域での歴史事項表示位置と表示サイズに基づき、ピクチャ領域内の所定の歴史事項表示領域に、作成対象月の全ての歴史事項を収容することができるかどうかを判定する。収容できる場合は、全ての歴史事項を歴史事項表示領域に挿入し、表示装置3に出力する。他方、全ての歴史事項が収容できない場合は、歴史事項表示領域内に収容できる数になるまで歴史事項を削除するようユーザに促し、歴史事項が確定されたとき、歴史事項を歴史事項表示領域に挿入し、表示装置3に出力する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ピクチャを挿入するためのピクチャ領域と、月または日付を表す数値を表示するためのカレンダー領域を含むカレンダーテンプレートを作成するカレンダー自動作成装置において、  
歴史事項を少なくとも日付情報を含む属性とともにストアしたストア手段と、  
前記カレンダー領域に表示された数値に対する日付情報を属性としてもつ歴史事項を前記ストア手段から抽出する抽出手段と、  
該抽出手段により抽出された歴史事項を前記カレンダーテンプレートに付加する付加手段とを備えたことを特徴とするカレンダー自動作成装置。

【請求項 2】 請求項 1 において、前記歴史事項の属性は該歴史事項が含まれる歴史テーマを含み、  
複数の歴史テーマから任意の歴史テーマを選択するための選択手段と、  
該選択手段により選択された歴史テーマを属性として持つ歴史事項を抽出する抽出手段と、  
該抽出手段により抽出された歴史事項を前記カレンダーテンプレートに付加する付加手段とを備えたことを特徴とするカレンダー自動作成装置。

【請求項 3】 請求項 1 において、前記歴史テーマは個人情報を含むことを特徴とするカレンダー自動作成装置。

【請求項 4】 請求項 1 において、前記付加手段は、前記抽出手段により抽出された歴史事項から任意の歴史事項を削除するための削除手段と、  
前記抽出手段により抽出された全歴史事項か、前記削除手段により削除された後の歴史事項を前記ピクチャ領域に収容することができるか否かを判定する判定手段と、  
該判定手段により否定判定された場合に、その旨を表示する表示制御手段とを備えたことを特徴とするカレンダー自動作成装置。

【請求項 5】 請求項 4 において、前記判定手段により否定判定された場合に、歴史事項を削減するための削減手段をさらに備えたことを特徴とするカレンダー自動作成装置。

【請求項 6】 ピクチャを挿入するためのピクチャ領域と、月または日付を表す数値を表示するためのカレンダー領域を含むカレンダーテンプレートを作成するカレンダー自動作成方法において、  
歴史事項を少なくとも日付情報を含む属性とともにストアしたストア手段から、前記カレンダー領域に表示された数値に対する日付情報を属性としてもつ歴史事項を抽出するステップと、  
抽出された歴史事項を前記カレンダーテンプレートに付加するステップとを備えたことを特徴とするカレンダー自動作成方法。

【請求項 7】 請求項 6 において、前記付加するステッ

プは、

抽出された全歴史事項か、削除された後の歴史事項を前記ピクチャ領域に収容することができるか否かを判定するステップと、

否定判定された場合に、その旨を表示するステップとを備えたことを特徴とするカレンダー自動作成方法。

【請求項 8】 コンピュータに、歴史事項を少なくとも日付情報を含む属性とともにストアしたストア手段から、カレンダー領域に表示された数値に対する日付情報を属性としてもつ歴史事項を抽出させ、抽出された歴史事項をカレンダーテンプレートに付加させることを特徴とするプログラムを記録した媒体。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、カレンダー自動作成装置および方法並びにプログラムを記録した媒体に関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来のカレンダー作成システムは、祝日以外のイベントを日を表すセルに自動的に出力することができないので、イベントを付加する場合には、ユーザがイベントを付加しようとする日を指定し、指定した日に、例えば、誕生日や記念日、休暇取得日などのイベントを表す文字列を入力するようになっており、カレンダーを出力した場合、ユーザがイベントを入力した通りに、イベントが、カレンダーの日を表す該当セル上に出力されるようになっていた。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】従って、過去にどのような日があったのか、今日はどのような日なのかといった情報を、該当日に文字列として付加する場合にも、全て、ユーザが入力するようになっており、ユーザの負担が大きかった。

【0004】さらに、このような情報を付加しようにも、例えば、1枚の用紙にピクチャ（サイズの大きい絵）とカレンダーをレイアウトしたものは、一般的に、カレンダーが小さくなるので、日を表すセルに付加することができる文字数に限界があった。

【0005】また、祝日以外のイベントの文字列に対して、自動的に、色の変更、強調（反転、網掛け等）等のフォーマットが行われないので、祝日以外のイベントを表す文字列のフォーマットはユーザが行わなければならない、負担が大きかった。

【0006】本発明の目的は、上記のような問題点を解決し、世界史、日本史、文学、科学、芸術、スポーツ、さらには、ユーザの生い立ち等に関する個人的な記念日などの特徴付けされた歴史テーマに基づく歴史事項を付加することができるカレンダー自動作成装置および方法並びにプログラムを記録した媒体を提供することにある。

## 【0007】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明は、ピクチャを挿入するためのピクチャ領域と、月または日付を表す数値を表示するためのカレンダー領域を含むカレンダーテンプレートを作成するカレンダー自動作成装置において、歴史事項を少なくとも日付情報を含む属性とともにストアしたストア手段と、前記カレンダー領域に表示された数値に対する日付情報を属性としてもつ歴史事項を前記ストア手段から抽出する抽出手段と、該抽出手段により抽出された歴史事項を前記カレンダーテンプレートに付加する付加手段とを備えている。

【0008】請求項1において、歴史事項の属性は該歴史事項が含まれる歴史テーマを含むことができ、本装置は、さらに、複数の歴史テーマから任意の歴史テーマを選択するための選択手段と、該選択手段により選択された歴史テーマを属性として持つ歴史事項を抽出する抽出手段と、該抽出手段により抽出された歴史事項を前記カレンダーテンプレートに付加する付加手段とを備えることができる。

【0009】請求項1において、歴史テーマは個人情報を含むことができる。

【0010】請求項1において、付加手段は、前記抽出手段により抽出された歴史事項から任意の歴史事項を削除するための削除手段と、前記抽出手段により抽出された全歴史事項か、前記削除手段により削除された後の歴史事項を前記ピクチャ領域に収容することができるか否かを判定する判定手段と、該判定手段により否定判定された場合に、その旨を表示する表示制御手段とを備えることができる。

【0011】請求項4において、判定手段により否定判定された場合に、歴史事項を削減するための削減手段をさらに備えることができる。

【0012】請求項6の発明は、ピクチャを挿入するためのピクチャ領域と、月または日付を表す数値を表示するためのカレンダー領域を含むカレンダーテンプレートを作成するカレンダー自動作成方法において、歴史事項を少なくとも日付情報を含む属性とともにストアしたストア手段から、前記カレンダー領域に表示された数値に対する日付情報を属性としてもつ歴史事項を抽出し、抽出された歴史事項を前記カレンダーテンプレートに付加する。

【0013】請求項6において、前記付加するステップは、抽出された全歴史事項か、削除された後の歴史事項を前記ピクチャ領域に収容することができるか否かを判定し、否定判定された場合に、その旨を表示することができる。

【0014】請求項8の発明に係る媒体には、コンピュータに、歴史事項を少なくとも日付情報を含む属性とともにストアしたストア手段から、カレンダー領域に表示された数値に対する日付情報を属性としてもつ歴史事項

を抽出させ、抽出された歴史事項をカレンダーテンプレートに付加させるプログラムが記録してある。

## 【0015】

【発明の実施の形態】以下に、本発明の実施の形態を図面を参照して詳細に説明する。

【0016】図1は本発明の一実施の形態を示す。図1において、1は入力装置であり、キーボードやマウスが好ましい。2は中央処理装置であり、ROM(read only memory)2aと、RAM(random access memory)2bとを有し、システムのマネージメント制御を行うものである。ROM2aは制御プログラムがストアしてある。RAM2bは作業領域として使用されている。3は表示装置であり、特定のカレンダーのための全ての情報を含む作業空間を表示するためのものである。4はデータベースであり、歴史情報が予めストアしてある。データベース4のデータ構造の一例を図2に示す。このように、各歴史事項はその属性としての日付情報、歴史テーマとともにストアされている。

【0017】制御プログラムをスタートさせたときに、表示されるテンプレートには、属性として、歴史情報の付加方法を示す項目と、ピクチャ領域に表示する場合の表示領域の位置を示す項目と、ピクチャ領域に表示する場合の表示領域のサイズを示す項目がある。

【0018】なお、以上の構成は、専用のハードウェアによって実現されるのみならず、汎用のパーソナルコンピュータ等を用いることも可能である。

【0019】図3は図1に示すROM2aにストアされる制御プログラムの一例を示すフローチャートである。この制御プログラムがスタートすると、まず、日を表すセルが空白のカレンダー・テンプレート、すなわち、イベントが含まれないカレンダー・テンプレートを表示装置3に表示する。その後、このカレンダー・テンプレートのピクチャ領域に、ユーザによりピクチャが挿入され、作成対象年および作成対象月が指定されることになる。ピクチャが挿入され、作成対象年および月として、「1997年」および「10月」が指定されたカレンダーのレイアウト(デザイン)の例を図4に示す。このようにして、カレンダー領域には年、月、日付を表す数値が表示される。

【0020】ユーザにより歴史情報付加の実行が開始されると、データベース4から歴史テーマ(西洋、日本、科学等)のリストを取り出し、取り出された歴史テーマのリストを表示装置3に表示する。そして、表示された歴史テーマのリストから、ユーザにより1つの歴史テーマ、例えば、「西洋」が選択されると(ステップS11)、選択された歴史テーマ「西洋」を属性として持つ歴史事項をその日付情報とともにデータベースから取得し(ステップS12)、取得した歴史事項のリストからカレンダーの作成対象月、すなわち、この例では、「10月」に対応する日付情報を属性としてもつ歴史事項を

データベース4から抽出する（ステップS13）。

【0021】について、表示されたカレンダー・テンプレートの属性のうち、付加方法が日にち単位か、月単位かを判定する（ステップS14）。判定した結果、付加方法が月単位の場合は、属性のうち、ピクチャ領域での歴史事項表示位置と表示サイズに基づき、ピクチャ領域内の所定の歴史事項表示領域に、「10月」の全ての歴史事項を収容することができるかどうかを判定する（ステップS16）。収容できる場合は、全ての歴史事項をその日付情報とともに歴史事項表示領域に挿入し（ステップS18）、表示装置3に出力する（ステップS19）。ピクチャ領域内の歴史事項表示領域に歴史事項とその日付情報を表示した例を図5に示す。他方、全ての歴史事項が収容できない場合は、歴史事項表示領域内に収容できる数になるまで歴史事項を削除するようユーザに促し（ステップS17）、その後、ステップS18に移行する。

【0022】他方、ステップS14で判定した結果、日にち単位の場合は、取得した歴史事項のうち日が一致する歴史事項をカレンダーの日を表すセル内に付加し（ステップS15）、ステップS19に移行する。17日および18日の歴史事項を10月17日と10月18日を表すセル内に表示した例を拡大して図6に示す。

【0023】本実施の形態では、歴史事項領域に全ての歴史事項が収容できない場合は、歴史事項表示領域内に収容できる数になるまで歴史事項を削除するようユーザに促す例を説明したが、抽出された全歴史事項が前記歴史事項表示領域に収容することができるか否かを判定し、否定判定された場合に、抽出された歴史事項の数を歴史事項表示領域に収容することができる数以下に減少させ、歴史事項表示領域に挿入するようにしてもよい。

【0024】歴史事項領域をピクチャ領域に設けた例を説明したが、歴史事項領域を、カレンダー領域内であって日を表すセルがない所に設けてもよい。

【0025】なお、歴史情報として、個人的な誕生日、記念日（結婚記念日等）を個人情報という歴史テーマとともにストアしておき、カレンダーに付加することも容

易である。

【0026】上記実施の形態では、ステップS13にて、カレンダーの月に対応する日付情報を属性としてもつ歴史事項を抽出する例について説明したが、カレンダーが2月単位で構成される場合は、その2月分に対応する日付情報を属性としてもつ歴史事項を抽出するようにしてもよいし、各月ごとに歴史事項を抽出するようにしてもよい。さらに、カレンダーが1週単位である場合には、その週に対応する日付情報を属性として持つ歴史事項を抽出すればよい。

【0027】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、ピクチャ領域とカレンダー領域を含むカレンダー・テンプレートを作成するカレンダー自動作成装置および方法において、ユーザが手動で歴史事項を入力することなく、自動的に歴史事項が付加される。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態を示すブロック図である。

【図2】図1のデータベース4のデータ構造を示す図である。

【図3】図1に示すROM2aにストアされる制御プログラムの一例を示すフローチャートである。

【図4】カレンダー・テンプレートにピクチャと年と月を入力した例を示す図である。

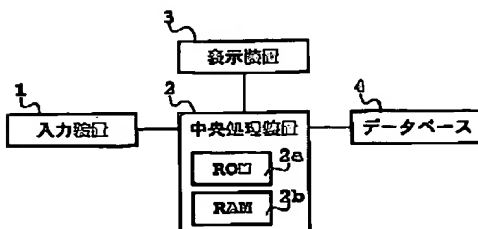
【図5】ピクチャ領域内の歴史事項表示領域に歴史事項と日付情報とを表示した例を示す図である。

【図6】日を表すセル内に歴史事項を表示した例を示す図である。

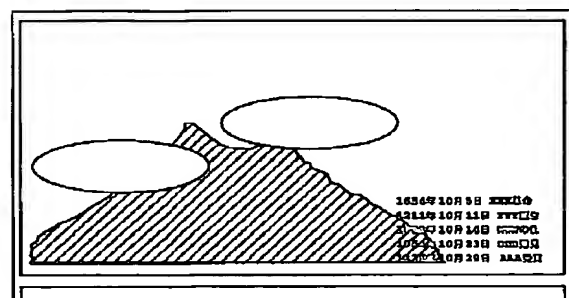
【符号の説明】

- 1 入力装置
- 2 中央処理装置
- 2a ROM
- 2b RAM
- 3 表示装置
- 4 データベース

【図1】



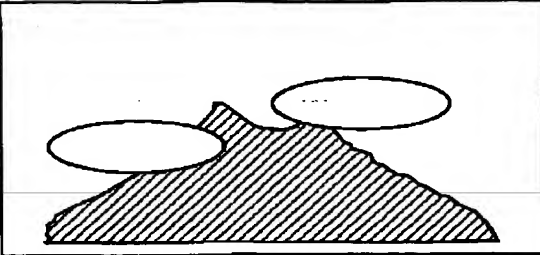
【図5】



【図 2】

歴史テーマ	日付			歴 史 事 項
	年	月	日	
西洋	17XX	7	14	XXX革命
西洋	13XX	1	3	XXX戦争
西洋	4XX	9	5	XXX大陸の発見
日本	7XX	2	23	XXX幕府の創立
日本	15XX	5	13	XXXの乱
日本	8XX	6	1	XXXの令発布
科学	13XX	8	25	XXX法則の発見
科学	10XX	3	3	世界初XXXの成功
科学	18XX	4	1	XXX菌の発見

【図 4】

						
1996年10月						
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

【図 6】

	17	18	
	1854年 XXX革命	1621年 YYY誕生	

【図3】

